

## 第557回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 令和7年3月5日（水）午前11：00より
2. 開催場所 長野放送本社会議室
3. 委員の出席 ○委員総数 8名  
○出席委員数 8名  
○出席委員の氏名（敬称略・委員は五十音順）  
委員長 林 新一郎  
副委員長 井上 裕子  
委員 浅井 隆彦  
委員 笹本 正治  
委員 武重 正史  
委員 中谷富美子  
委員 中山 潔  
委員 南澤 光弥  
○欠席委員の氏名（敬称略・委員は五十音順）  
○放送事業者側出席者名  
外山 衆司 （代表取締役社長）  
船木 正也 （常務取締役 編成業務・放送番組審議会担当）  
西條 彰浩 （取締役 報道制作担当）  
浅輪 清 （編成業務局長  
兼 考査部長 兼 放送番組審議会事務局長）  
北澤 輝久 （編成業務局編成部長 兼 視聴者室長）  
伊藤 晴彦 （報道制作局長）  
大日方詩織 （報道制作局制作部）

### 4. 議題

#### （1）番組審議

『 NBSフォーカス∞信州 みほとけ信州美仏めぐり in上田 』

令和7年1月31日 金曜日 午後7時00分から放送

(2) 視聴者対応報告（令和7年2月分）

(3) その他

## 5. 議事概要

### (1) 番組審議

- ・取材エリアが絞られていたことで、その地域の仏教信仰の関わりがわかりやすかった。
- ・NBSの映像はすごく美しいので、仏像の映像がリアルで質感までよくわかる感じ。御仏の魅力の素晴らしさを伝えてくれた。
- ・クイズや豆知識などのコーナーを交えながら、平易な解説を入れたことで、興味が繋がって視聴できた。
- ・みほとけさんは、ある意味翻訳家なので、プロのコメントというか、歴史というか、文化財研究者のおっしゃることをなるべく今の若い人も含めてわかっていただくことが、大事な役割だと思っているので、好意的に見た。
- ・仏像に関する解説も本格的で非常に分かりやすかった。
- ・豆知識とか、クイズも交えた仏像の魅力の伝え方が、とても入り込みやすい。
- ・表情から勝手に人柄を想像するとか、ある意味、仏像を擬人化していただいたことで、我々はすごく入り込みやすかった。
- ・特に細かすぎる、みほとけ的ポイントは、本当に興味深く聞くことができたし、本当に良いアプローチを作っていた。
- ・くるみおはぎとか別所温泉の温泉コーヒー、レアチーズケーキなどは魅力的で、行ってみたいという気持ちを掻き立てるものになっていた。
- ・きちんと仏像の魅力とか、お寺の由来とか話してくれて、エンタメとしても、いわゆる教養番組としても、良く出来ている。
- ・美術品としての仏様と信仰の対象としての仏様の違いをちょっと語っていただく

- と、より深くなったと思って見た。
- ・上田市から別所温泉まで行って、行ったらこういう風に動きたいという思いに繋がるような全体的にまとまった良い作品。
  - ・未完成の完成をデビューしたてのアイドルに例えたのは、よく分からなかった。
  - ・仏像豆知識の中で紹介された、仏様の世界には四つのランクがあるとのフリップは、冒頭に持って来て、理解を深めた上で番組を見ていく方が良かった。
  - ・映像で見ると、仏像本体の大きさが伝わりづらいと感じ、工夫が必要。
  - ・大きさがテレビの画面では分からなくて、場所に行ってそのものをクローズアップするだけでは、大きさの実感がないと感じた。
  - ・衣が美しいのか、頭が美しいのか、お顔のこの目の形が美しいのか。入った瞬間に「美しい」と言うと、全部が美しくなってしまうので、ちょっと残念。
  - ・悉皆調査というものが何のためにやるのか、どんなところまでやるのかということが、もう少し私達にもわかるような説明があってもいい。
  - ・お寺を巡った時に場所がバラバラではないですか。映像では出ていたけれども、地図にすると、もうちょっと分かると思った。
  - ・なぜ平安時代の仏像が多いのか、明快に説明なり答えがあったのかどうか。ちょっと紹介が薄いと感じた。お寺の宗派が紹介されたりされなかったりだった。
  - ・長福寺のところで、みほとけさんが「聖徳太子が自ら作られたお堂で、聖徳太子が自ら拝むために作られた」という解説をしているのは、完全な誤り。
  - ・仏は悟ったもの、これが仏像なので、ものまねのポーズをされると、なんとなく違和感。逆に信仰対象としてこういうことでいいのかと思った。
  - ・みほとけさんが仏像に対して、あまりにも近付き過ぎてため口になって、あるいは人格化した表現があって、本物の檀家にとっては信仰の対象なので、憤慨する人もいるのではないかと感じた。
  - ・説明の時に「一説によれば」とか、逃げの用意をしておいた方が、いいのではな

いか。

- ・簡単に町の方が拝んできたとか、町の人気者だとかというような言い方は、今の私たちの概念だけでこれで本当にいいのか、仏像に対してそういう感覚はないのではないか。
- ・信仰対象に関しては位置を示したり、それから荘厳さを示したりするものであって、それが個人のおしゃれみたいな感覚で説明されることがいいのかと思った。
- ・みほとけさんは「やばい、すごい、かっこいい」みたいなことを言われるけれども、こういう評価で本当にいいのかと改めて思い、禅宗様式特有の部分をもう少し説明した方が良かった。
- ・本堂の中に入る時には、コートを脱いだ方がいいのではないかと思った。
- ・畑から出てきた金銅仏は、国宝級のものではないのかと思うが、出てきた畑の映像ぐらい、映しても良かったのではないか。
- ・上田の町の魅力ある特色の一つである信州の鎌倉、塩田平の希少性の高い仏教文化を取り上げている番組を、長野のローカルだけで放送するのはもったいないと思った。全国で是非、紹介するような機会があったらいい。

## (2) 視聴者対応報告（令和7年2月分）

資料に基づき、令和7年2月分の視聴者対応について、編成部より報告を行った。

## (3) その他

### 配布資料

- ・第556回番組審議会（令和7年2月）議事録
- ・視聴者対応報告資料（令和7年2月分）
- ・次回用の番組録画DVD及び番組資料
- ・モニターレポート

『 NBSフォーカス∞信州 みほとけ信州美仏めぐり i n上田 』

・ BPO報告 (NO. 273)

・ 民間放送ニューズレター (第2236号)

以 上